

## 平成19年度 国土交通省サマージョブ・テーマ一覧

テーマ	概要	期間	人数
拡散型から集約型へ、コンパクトシティへの変革	人口減少・超高齢社会の到来する中、それに合わせた持続可能な都市構造・地域構造を実現することは国家として急務となっています。特に、地方都市においては、中心市街地が空洞化し、大規模施設が郊外に相次いで立地するなど、都市機能が拡散の一途を辿る中で、歩いて暮らせるまちづくり、いわゆるコンパクトシティを実現することが大きな課題となっています。そこで、コンパクトシティを実現し、今後の大きな転換点に当たって行政として何をすべきか、企画・提案して頂きます。	7月30日 ～8月3日	7名程度
地域の公共交通の未来を考える	人口減少・過疎化が猛烈な勢いで進行している地方部において、存続が危ぶまれている鉄道やバス路線などの公共交通機関の維持、利用促進を図ることは、高齢者や学生などいわゆる交通弱者の足を確保するだけでなく、自家用車による移動を大規模輸送の公共交通機関に振り替えることで環境問題などの社会の重要課題の対応策の一つとなっています。鉄道やバスについて、具体的な事例を1例以上取り上げて、公共交通機関の活用促進方策を検討していただきます。	7月30日 ～8月3日	7名程度
ワンコインで渋滞解消！ ～ 高速道路の料金引下げで一般道の渋滞解消？ ～	高速道路の料金については、一定の場合に割引が実施されるほかは、車種等に応じて一律に定められていますが、これを弾力的に運用することにより、高速道路の交通流をコントロールし、高速道路やこれに平行する渋滞の緩和等を行うことが可能であると考えられています。このような考えを踏まえ、高速道路の料金引下げに伴う一般道の物流、交通渋滞、環境等に与える影響等を把握し、既存高速道路の効率的活用策について検討すると共に、これを本格的に導入するに当たっての課題とその解決策について提案をしていただきます。	7月30日 ～8月3日	7名程度
羽田空港をもっと使いやすくする方法	我が国国内航空ネットワークの「ハブ」を担い、2010年10月以降は国際線も就航する羽田空港については、4本目の滑走路の整備等再拡張事業が鋭意進められています。再拡張後の羽田空港について、現在予定されている計画（施設整備、アクセス、活用方策等）を整理した上で、関係者ヒアリングなどを通じて、課題の整理と改善策を提案していただきます。	8月6日 ～8月10日	7名程度
集落の消滅に国土計画はいかに応えるのか	「消滅集落」ということばをご存じですか？ 市町村へのアンケートによると全国の過疎地などで2,600を超える集落が将来的に消滅する（実態として無人化し、通年での居住者が存在しなくなる）おそれがあるとされています。しかし、今、そこに住まう人々の生活は、さらに、放置される家屋や山林はどうしたらよいのでしょうか。消滅をくい止める手だては？ 国土の管理に与える影響は？ 2050年には総人口が1億人を割るとの予測もなされる日本の国土計画における、このような課題について、その分析と政策・計画の企画・提案をしていただきます。	8月6日 ～8月10日	7名程度

テーマ	概要	期間	人数
新たな金融手法を活用した不動産市場の構築に向けて	不動産の所有と経営を分離する「不動産証券化」手法は、かつては、不良債権処理の一手法として、最近では新たな事業展開・拡大のための資金調達手法としても活用され、投資対象が再開発事業や物流施設から、マンションやファミリーレストランまで拡大しています。不動産証券化の推進は、良好な居住環境の実現や都市再生・地域再生だけでなく、金融業界では、新たな投資資金の流入を促し不動産市場全体を活性化させるものとして世界的に注目されています。今回は基礎的な不動産証券化手法を学んで頂いた上でその果たしてきた意義を検証するとともに、今後のあるべき不動産市場の姿とその実現のために行政が果たすべき役割について、企画・提案していただきます。	8月6日 ～8月10日	7名程度
都市内物流の効率化 ～物流とまちづくりのコラボレーション	皆さんは「物流」と聞くとどのようなイメージを持ちますか？ ピンと来ないかもしれませんが、商品を海外から日本へ、工場からお店へ運ぶ過程がまさに「物流」ですから、日常生活は「物流」無しに成り立たないと言っても過言ではありません。その中でも特に身近なものが、まちなかの「都市内物流」です。駐車禁止の取締が厳しくなる中で車による荷物の配送はどう行うのか、環境にやさしい物流をどう実現するのか、多くの課題が浮き彫りになりつつあります。今、リアルタイムに政策立案が行われているこの新分野について、皆さんにも課題の分析と政策の企画・提案をして頂きます。	8月6日 ～8月10日	7名程度
環境にやさしい社会を目指して	京都議定書の約束期間（平成20年度～平成24年度）を目前に控え、地球温暖化対策は待ったなしで推進しなければならない重要な政策課題です。運輸部門・民生部門など国土交通省担当部門におけるCO2排出量は非常に大きな割合を占めているところであり、国土交通省においても、京都議定書の遵守は喫緊の課題とんっています。京都議定書目標達成計画の内容も踏まえながら、地球温暖化防止に有効な運輸・民生部門のあり方を検討した上、政策企画・提案していただきます。	8月20日 ～8月24日	7名程度
豊かな住生活の実現に向けて	戦後の高度経済成長を経て、現在、我が国は国際社会におけるフロントランナーの役割を担うようになっています。しかしながら、国民生活の基本である「衣食住」のうち、「住」については、一生涯かけて取得した住宅が一代限りで取り壊され、各世代が大きな住居費負担に圧迫されているなど、世界に誇れ、成熟社会にふさわしい魅力ある住生活を実現しているとは言い難い状況にあります。そこで、我が国が現在直面している課題等を踏まえた上、成熟社会にふさわしい豊かな住生活を実現するために必要な政策について、企画・提案して頂きます。	8月20日 ～8月24日	7名程度
ビジットジャパーンキャンペーン新戦略	国土交通省が主導して進めているビジットジャパーンキャンペーンにより、キャンペーンを開始した2003年以降、訪日外国人旅行者は521万人から2006年には733万人へと着実に増加していますが、2010年に1000万人という目標を達成するためには、これまでの取り組みに加え、新たな観光魅力の発掘・発信、新規市場の開拓、新しいプロモーション手法の開発等が必要です。観光立国を進める我が国にとって必要なビジットジャパーンキャンペーンの新たな戦略や具体的な施策について、検討・提案していただきます。	8月20日 ～8月24日	7名程度